

製品安全データシート (MSDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : スカイ・ヘリテージ (SKY-STD)
 会社名 : 株式会社ハイドロ・スカイ
 担当部門 : 製品開発部
 住所 : 東京都墨田区業平 4-11-9
 電話番号 : 03-5637-8834 FAX 番号 03-5637-8874
 緊急連絡先 : 担当部門に同じ
 推奨用途及び使用上の制限 : 撥水処理剤
 発行日 : 2014年06月01日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 : 区分2
 健康に対する有害性 : 皮膚腐食性/刺激性 : 区分外
 環境に対する有害性 : 危険有害性の分類に該当する情報はありません。
 ※記載が無い危険有害性は、「区分外」、「区分対象外」または「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 可燃性液体。
 飲み込むと有害のおそれ (経口)
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 水生生物に有害
 長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き

【安全対策】

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・吸引しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。
- ・熱源/火花/炎/加熱面のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- ・容器を密閉すること。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用すること。
- ・静電気や火花による引火を防止すること。
- ・個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
- ・粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・環境への放出は避けること。

- 【応急処置】**
- ・火災の場合には適切な消化方法をとること。
 - ・吸引した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。吐かせないこと。気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
 - ・眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 - ・皮膚や毛髪に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚、毛髪を流水、シャワーで洗うこと。
 - ・暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断、手当てを受けること。
- 【保管】**
- ・容器を密閉して、涼しく換気の良いところで、施錠して保管すること。
- 【廃棄】**
- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物
成分内容

成分	CAS 番号	化審法	安衛法	含有量
ヘキシルトリメトキシラン	3069-19-0	2-2052	2-2052	非公開
アミノプロピルトリメトキシラン	13822-56-5	2-2061	2-2061	非公開
トリフルオロメチルトリメチルシラン	81290-20-2	2-3-382	2-3-382	非公開
イソプロピルアルコール	67-63-0	2-207	2-207	非公開
ブチルセルソルブ	111-76-2	2-407	2-407	非公開

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。
医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
皮膚、毛髪を流水、シャワーで洗うこと。
医師の診断／手当てを受けること。
- 目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。
医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡し、手当てを受けること。
口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
- 応急措置をする者の保護：救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤：二酸化炭素消火剤、粉末消火剤、泡(耐アルコール性)消火剤
使ってはならない消火剤：棒状水
- 特有の危険有害性：火災によって刺激性、有毒及び/または腐食性のガスを発生する。
蒸気が発火源まで達し、フラッシュバックするおそれがある。
燃えやすい、熱、火花、火炎で容易に発火する。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
引火性の液体及び蒸気である。
- 消化を行う者の保護：自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。
追加情報：汚染された消化用水を別途回収すること。
下水または廃水処理私設に流さないこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置 :

作業の際は適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、皮膚や眼への付着や、ガスを吸入しないようにすること。

漏出場所の風上から作業し風下の人を避難させること。

十分に換気を行うこと。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止すること。

環境に対する注意事項 : 製品が排水路に排出されないように注意すること。

地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

多量の流出には盛土で囲って流出を防止すること。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材 :

乾燥砂、不燃性吸収剤などで吸収させて密閉できる容器に回収すること。

吸収したものを集めるときは、清潔な帯電防止工具を用いること。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分すること。

漏出物を取り扱うときは用いる全ての設備は接地すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

作業の際は適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、皮膚や眼への付着や、ガスを吸入しないようにすること。

静電気対策のため、装置、機器類の接地を行うこと。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用すること。

局所排気・全体換気

: 8. 暴露防止及び保護措置の項を参照。

注意事項

: 容器は注意して取扱い、転倒させ、落下させ、衝撃を加えたりしないこと。

熱源/火花/炎/加熱面のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

作業場の換気を十分に行うこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

本製品に接触、吸入、飲み込みをしてはならない。

開封後は1ヶ月以内に使いきり、保管する場合は、容器内を窒素ガスで置換し、密栓すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。

火災及び爆発からの保護 : 点火源を近づけない。消火器常備のこと。

保管

適切な保管条件

: 法規に従って、危険物施設に保管すること。

容器を開放した後は、空間部分を窒素ガスで置換し、密栓すること。

直射日光を避け、換気のよい冷所に保管すること。

施錠して保管すること。

酸化剤との接触を避けること。

着火源から離して保管すること。

安全な容器包装材料

: 法令の定めるところに従う。

適切な材質で耐腐食性に優れ、密閉性のある包装容器を使用すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

: 日本産衛学会 (2005年版) 400ppm 980mg/m³

ACGIH (2005年版) TLV-TWA 200ppm A4

- 設備対策** : 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄を行うための設備等を設置すること。
蒸気が滞留しないように、局所排気装置、または全体換気装置を設置した場所で行うこと。
製造業者が指定する防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
「火気厳禁」、「関係者以外立入禁止」等の必要な標識を見えやすい箇所に掲示すること。
- 保護具**
- 呼吸器の保護具 : 防毒マスク(有機ガス用)、送気マスク等。
- 手の保護具 : 耐薬品性保護手袋、不浸透性帯電防止手袋
- 目の保護具 : サイドシールド(フレームゴーグル)付き保護眼鏡又は保護面。
- 皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴。
- 衛生対策** : 作業中は飲食、喫煙はしないこと。
取扱い後や飲食、喫煙前には石鹼で手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物 理 的 状 態	: 液体 (常温)
色	: 無色透明 ~ 微黄色
臭	: 微かな特有臭
pH	: データなし
融 点	: データなし
沸 点	: データなし
引 火 点	: 12 °C
爆 発 下 限	: 2.0vol%
爆 発 上 限	: 12.7vol%
発 火 点	: 445 °C
蒸 気 圧	: 4.4kPa (20°C)
密 度	: 0.79 ~ 0.84 g/cm ³ (20 °C)
n-オクタノール/水分配係数	: log Pow = 0.05 データなし
粘 度	: 2.37 mPa・s (25 °C)

10. 安定性及び反応性

- 安定性** : 適切な条件下においては安定。
- 危険有害反応可能性** : 熱、光、金属との接触などで発熱、重合を起こすおそれがある。
強酸、強アルカリ、酸化剤、アゾ化合物、金属イオン、過酸化剤等と混合した時、反応する可能性がある。
強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険性をもたらす。
多くのプラスチックや樹脂を侵す。
流動、攪拌などにより、静電気が発生することがある。
- 避けるべき条件** : 高温、日光、裸火、熱、スパーク、静電気、その他発火源
- 混触危険物質** : 強酸化剤、水、酸、アルカリ
- 危険有害な分解生成物** : 本品は水及び酸、アルカリ化合物と穏やかに反応して (加水分解)、火気化合物を生成する。
一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物窒素酸化物。二酸化ケイ素。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: LD ₅₀	ラット	87.5mg/11,6 hr
急性毒性 (経皮)	: LD ₅₀	ウサギ	15800mg/kg
急性毒性 (吸入: ガス)	: 情報なし。		

急性毒性(吸入 : 蒸気)	: 情報なし
急性毒性(吸入 : 粉塵、ミスト)	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷/目刺激性	: 情報なし
呼吸器感受性	: 情報なし
皮膚感受性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性/全身毒性 (単回暴露)	: 情報なし。
特定標的臓器毒性/全身毒性 (反復暴露)	: 情報なし。
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし。

12. 環境影響情報

水性環境急性有害性	: 情報なし
水性環境慢性有害性	: 情報なし
残留性、分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: この製品及び容器は、安全な方法で廃棄すること。 この製品は排水溝に空けないこと。 地方自治体の条例を遵守し、適切なごみ焼却施設で焼却すること。 また、焼却する際は、関連法規、法令を遵守する。廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関連法規、法令を遵守し、適正に処理すること。
汚染容器及び包装	: 汚染された包装から内容物を可能なかぎり取り除き、包装を完全に浄化した上でリサイクルに回すこと。 空の汚染容器、包装材料を廃棄する場合、内容物を除去したあとに、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関連法規、法令を遵守し、適正に処理すること。

14. 輸送上の注意

輸送上の注意	
国際規制	
海上規制情報	: IMOの規定に従う。
UN No.	: 1219
Class	: 3
Packing Group	: II
航空規制情報	: ICAO/IATAの規定に従う。
UN No.	: 1219
Class	: 3
Packing Group	: II
海洋汚染物質	: 非該当

品名(国連輸送名)	非該当
容器等級	非該当
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法、道路法の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法、港則法、海洋汚染防止法の規定に従う。
国連番号	: 1219
クラス	: 3
容器等級	: II
海洋汚染物質	: 該当しない。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
国連番号	: 1866
クラス	: 3
容器等級	: II
特別の安全対策	: 輸送に際しては容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にすること。 火気厳禁。 その他消防法等の法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	: 危険物 第4類 アルコール類 第2種有機溶剤
毒物劇物取締法	: 該当しない。
労働安全衛生法	: 危険物(引火性の物)
化学物質管理促進法	: 該当しない。
船舶安全法	: 引火性液体類

16. その他の情報

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価についてすべてを保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないため、取り扱いには十分注意して下さい。注意事項は通常の取り扱いを対象にしたものであり、それ以外については使用者の責任に於いて、安全対策を実施の上取扱ください。

記載内容の問合せ先

〒130-0002
東京都墨田区業平 4-11-9
株式会社ハイドロ・スカイ
電話番号 03-5637-8834
Fax 番号 03-5637-8874
メールアドレス hydrosky@chemix-group.co.jp